

41. 長崎県 (Nagasaki Pref.)

作成者: 柴原克己¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ウ	EX	オオウラギンスジヒョウモン	-	-	杵岐, 福江島, 長崎市, 国見山(世知原町)	杵岐(戦前)と福江島(戦前と1955年), 長崎市(1953年), 国見山(1965年)の5例のみ。本来は県下に広く分布していたものと思われるが, 現在は絶滅している可能性が高い	-	-
EN	オ	V	オオウラギンヒョウモン	東彼杵町	-	平戸市, 世知原町, 佐世保市, 大村市, 諫早市, 島原市, 有明町, 長崎市, 外海町	離島を除く県内各地に記録がある。しかし, 東彼杵町をのぞくと1980年代以降記録がない	東彼杵町では, 草原の乾燥化, 採集圧が減少の要因になるかもしれない	大野原(東彼杵町)は自衛隊演習場であり, 野焼き等で草原が維持されている
EN	ク	V	クロシジミ	-	東彼杵町, 諫早市	長崎市, 厳原町, 上県町	厳原町は1957年, 上県町は1970年の記録のみ。長崎市では1970年代は多産したが, その後採れていない。諫早市, 東彼杵町では近年も記録はあるが少ない	-	-
EN	オ	V	ミヤマセセリ	美津島町, 上対馬町	佐世保市, 大村市, 諫早市, 長崎市, 西彼町	-	長崎市, 多良山系などでは局地的に多産したが, 1980年代からほとんど採れなくなった。佐世保市では1950年ごろ「生息する」との記録があるが, 現状不明。対馬では近年も採集されている	-	-
EN	オ	V	オオチャバナセセリ	-	佐世保市, 大村市, 諫早市, 国見町, 島原市, 小浜町, 千石町, 長崎市	-	1970年代まで多良・雲仙山系の一部には多産したが, 1980年ごろから記録がない	-	-
VU	カ	V	ツマグロキチョウ	平戸市, 生月町, 田平町, 東彼杵町, 大村市, 北有馬町, 野母崎町, 福江市, 岐宿町, 三井楽町, 玉之浦町	松浦市, 高来町, 長崎市, 琴海町, 大瀬戸町, 厳原町	-	かつては離島を含め普通種であった。しかし現在は, 平戸, 五島, 東彼杵町, 大村市などの一部を除くとほとんど見られなくなった	-	-
VU	ケ	R	エソスジグロシロチョウ	生月町	-	平戸市, 田平町, 郷ノ浦町	近年も個体数は少なくないが, 生月町のみと生息範囲が狭く, 安定とは言い難い。他町の記録は迷入による一時的なものと思われる	-	-
VU	カ	V	ウラナミジャノメ	大村市, 諫早市, 北有馬町, 千石町, 長崎市, 三和町, 野母崎町, 伊王島町, 福江市, 岐宿町, 富江町, 厳原町, 美津島町, 豊玉町, 上県町, 上対馬町	平戸市, 大島村, 佐世保市, 東彼杵町, 長与町, 外海町, 峰町	-	対馬では人家周辺から山地まで広く分布し, 個体数も多い。県本土では広い範囲に記録はあるが, 産地は局地的で個体数も減少傾向にある	-	-
VU	カ	V	ウラギンスジヒョウモン	田平町, 高来町, 小浜町, 福江市, 三井楽町, 厳原町, 美津島町, 上対馬町	平戸市, 鷹島町, 佐世保市, 大村市, 長崎市, 琴海町, 峰町,	-	1970年代までは平地・山地を問わず比較的多かった。しかし, 1985年以降, 本土では記録が少ない。対馬では近年もよく見かける	-	-
VU	カ	V	クモガタヒョウモン	厳原町, 美津島町, 豊玉町, 上対馬町	長崎市, 佐世保市, 世知原町	-	本土では各地に記録はあるが, 1967年の長崎市以来採れていない。対馬では近年も採集されている。杵岐・五島では1970年代には比較的多かったが, 近年は不明	-	-
VU	カ	V	ウラギンヒョウモン	世知原町, 佐世保市, 東彼杵町, 大村市, 諫早市, 小浜町, 千石町	島原市, 口之津町, 長崎市, 小値賀町	-	1970年代, 国見・多良・雲仙山系では普通種で, よく花に群れていた。しかし, 1990年代以降は明らかに減少している	-	-
VU	カ	E	ヒオドシチョウ	-	世知原町, 佐世保市, 大村市, 諫早市, 高来町, 島原市, 小浜町, 長崎市, 多良見町, 長与町, 外海町	-	島嶼を除く県内各地に広く分布しており, 時に大発生することもあった。しかし, 1970年代から採集例が少なくなっている	-	-
VU	カ	R	シルビアシジミ	福江市, 岐宿町, 玉之浦町, 富江町	生月町, 田平町	大村市, 長崎市	五島, 生月では少なくないようだ。長崎市, 大村市では1971年以降発見されておらず, 近年本土では田平町のみ	-	-
VU	コ	R	ツシマウラボシシジミ	-	豊玉町, 峰町, 上県町, 上対馬町	-	対馬の北部のごく狭い範囲に生息。現在もそれほど少ない種ではないが, 1970年代と比較すると減少傾向にある	-	-
VU	カ	V	タイワンツバメシジミ	平戸町, 生月町, 福江市, 岐宿町, 三井楽町, 富江町	世知原町, 佐世保市, 諫早市, 長崎市, 野母崎町, 多良見町, 長与町	-	1970年代まで, 杵岐・対馬を除く県内各地に広く分布する普通種であった。しかし近年は, 平戸・五島を除いて激減している	シバハギが自生する草原が減少した	-
VU	コ	R	ホシチャバナセセリ	-	厳原町, 美津島町, 上対馬町	-	県内では対馬にのみ生息する。1970年代は島内各地に普通に産した。近年も採集されているが, 明らかに減少している	-	-
NT	サ	R	ミスジチョウ	上県町	高来町, 厳原町, 峰町	-	多良山系では1980年代の記録のみ。対馬では近年も採集されている。本来希少種で, 増減については調査不足。しかし, 生息範囲が狭く, 安定密度とは言い難い	-	-

41. 長崎県 (Nagasaki Pref.)

作成者: 柴原克己¹⁾

作成日付: 2002年12月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
NT	キ	V	コツバメ	大村市, 諫早市, 高来町, 森山町, 国見町, 有家町, 島原市, 西有家町, 北有馬町, 小浜町, 千 - 石町, 長崎市, 長与町	佐世保市, 野母崎町, 多良見町, 西海町, 大瀬戸町, 外海町	-	離島を除く県内各地に広く分布している。1990年代以降, 西彼杵郡各町の記録が少なくなった	-	-
NT	キ	R	クロツバメシジミ	平戸市, 生月町, 田平町, 加津佐町, 長崎市, 外海町, 三井楽町, 奈留町, 厳原町, 美津島町, 豊玉町, 上対馬町	佐世保市, 大村市, 野母崎町	-	離島の海岸ではまだ各地に生息し, 個体数も多い。しかし, 本土では1990年代以降記録のない産地が多い	-	-
NT	サ	R	スギタニルリシジミ	大村市, 諫早市, 高来町,	世知原町	-	多良山系の一部では近年も少なくない。国見山は1971年の1例のみ。生息範囲は狭く, 安定密度とは言い難い	-	-
NT	サ	R	キバネセセリ	厳原町, 豊玉町, 上対馬町	-	-	県内では対馬のみの希少種。近年も少数の採集例がある。増減については調査不足だが, 生息範囲が狭く安定密度とは言い難い	-	-
NT	キ	V	ヒメキマダラセセリ	西有家町, 小浜町, 千 - 石町	大村市, 高来町, 島原市	-	本来, 雲仙・多良山系の山地に生息していた。1990年代以降, 雲仙では少数採集されているが, 多良山系では採れていない	-	-

1) 〒856-0020 長崎県大村市小路口本町397-5

文献

江島正郎ほか, 1973. 長崎県の蝶 - その分布と生態 -, 長崎県生物学会, 長崎昆虫同好会
 浦田明夫, 1997. 香岐・対馬の蝶類の分布と生活, 香岐の生物: 375-407, 長崎県生物学会
 浦田明夫, 1976. 対馬の蝶類, 対馬の生物: 403-428, 長崎県生物学会
 後藤安一郎・峰正隆, 2001. 蝶, 長崎の希少な野生生物, 長崎県県民生活環境部自然保護課, 昭和堂印刷
 後藤安一郎, 2001. 多良山系の蝶類, 多良岳の蝶類, 長崎県生物学会
 江島正郎, 1989. 長崎県の蝶類相, 長崎県の生物, 長崎県生物学会
 各種の分布記録はこがねむし(長崎昆虫研究会), 長崎県生物学会誌(長崎県生物学会)から引用したが省略した
 近年の記録は中園信行, 和田義人, 深川元太郎, 島本勤, 伊達木薫, 峰正隆, 立川邦彦より未発表資料を提供していただいた